

平成28年度 食品関連事業者による食品ロス削減研修会

食品ロス削減取組事例



株式会社
山星屋

当社の会社概要



社名	株式会社山星屋
創業	1909年10月(明治42年10月)
設立	1953年11月(昭和28年11月)
資本金	22億円
正社員	711名(連結ベース) ※2016年3月末現在
連結売上高	2,671億円 (2016年3月期実績)
事業内容	菓子食品を主体とする卸流通事業、以上に付帯する多様な コンサルティング事業
代表者	代表取締役社長 小西 規雄
主要株主	丸紅株式会社 国分グループ本社株式会社
主要取引銀行	みずほ銀行 三井住友銀行

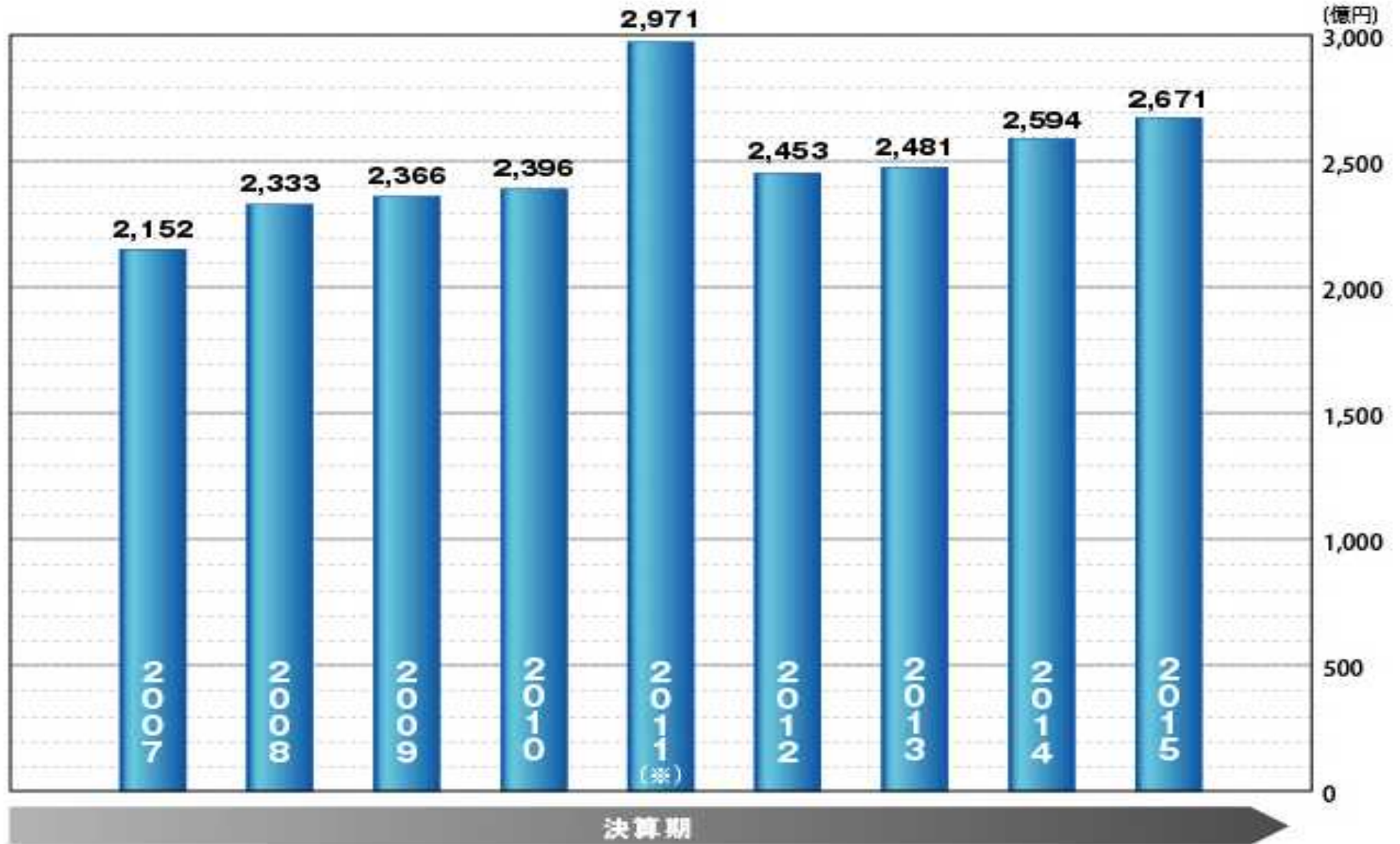
当社のネットワーク

全国 50カ所に広がるネットワーク

時代に、地域に暮らしに・・・最もマッチするお菓子のシーンを創造し、お取引先様を通じて生活者のお手元まで、お菓子のある喜びをお届けするのが私たちの社会的使命です。価値創造型企業として、この使命を実践するために、北は北海道から南は沖縄まで、全国50カ所に広がるネットワークを整備し、全国のマーケット情報の収集から効率のよい在庫管理、計画的な配送システムに至るまで、質の高い営業を展開しています。



当社の売上高推移



※2011年度については、2011年度に決算期を1月から3月に変更したため、2011年2月から2012年3月の14カ月間での売上高となっております。

食品ロス削減への取組に関して<山星屋>



取組方針

- 資源を無駄なく効率的に活用し、経済成長に貢献する
- 『もったいない』発祥国として、世界に取組を発信する

取組内容（社内）

- 食品ロス削減取組に関して社内の情報共有
- 不良在庫の削減及びメーカー返品削減の取組強化

取組内容（取引先）

- 小売業の現状確認及び情報共有
- 納品期限変更に向け、小売業への協力依頼を実施

食品ロス削減への取組事例<取組概要>



目的

- メーカーへの返品金額の削減（食品ロス削減）
- 倉庫在庫の適正化

対象

- 事前受注情報の開示がされていない取引先 A

期間

- 2015年1月より開始

目標

- メーカーへの返品金額25%削減

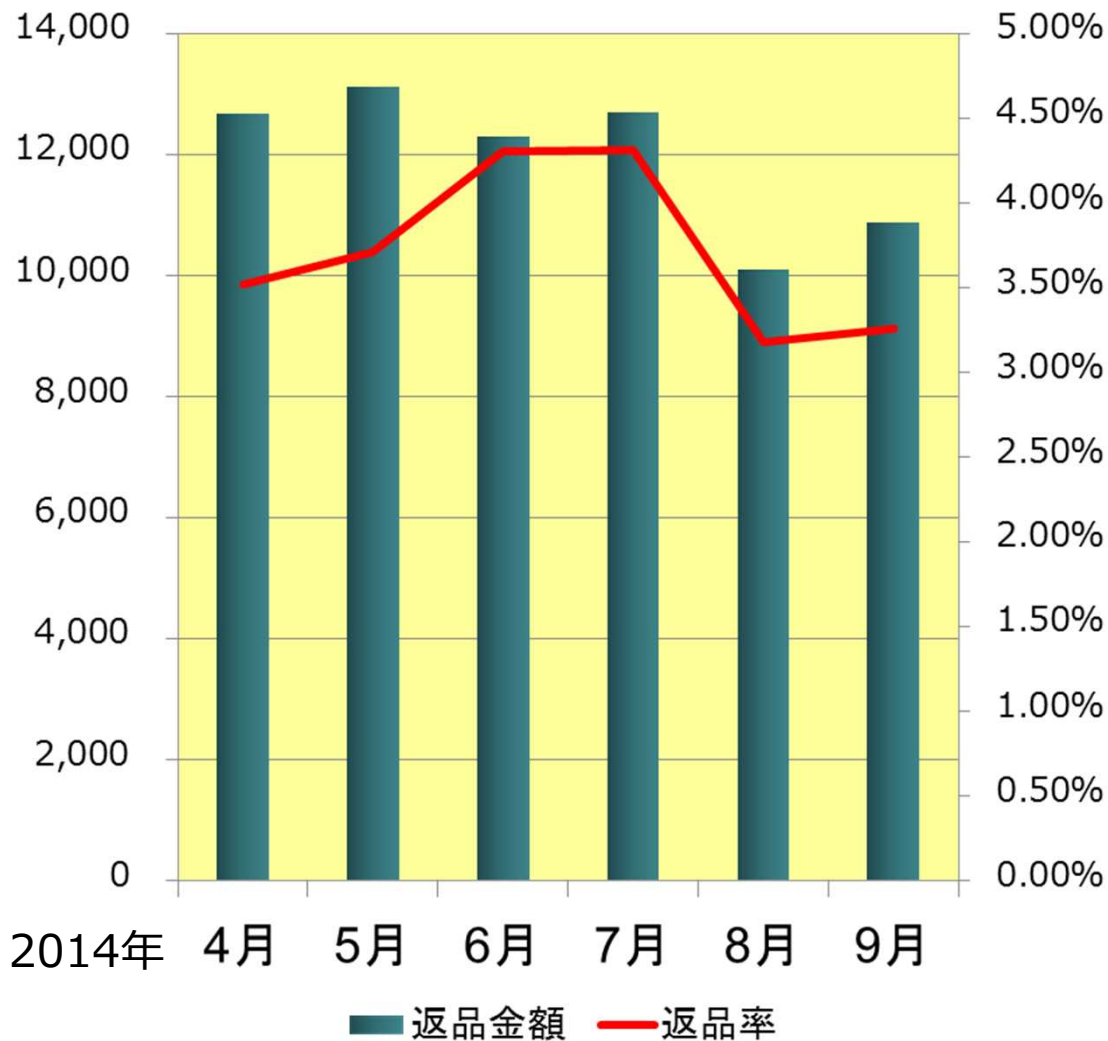
食品ロス削減への取組事例<取組背景>



ARISTA
山星屋

取組開始前の取引先 A との取引状況

単位 (千円)



取引先 A との取引状況

1. 出荷許容基準が賞味期間毎に異なり、基準も厳しく管理が困難
2. 新商品の発注数量の波動が大きく、発注当日まで数量が不明

課題

1. 他企業と比較し、メーカーへの返品額・返品率が高い
2. 発注数量予測と実発注数に乖離が出た場合、メーカーに緊急出荷対応を依頼するケースが発生

食品ロス削減への取組事例<取組背景>



取引先 A での返品発生要因

カット時残

25%

新商品残

50%

通常許容切

25%

新商品残・出荷許容切削減に着手

食品ロス削減への取組事例<取組内容・手順>

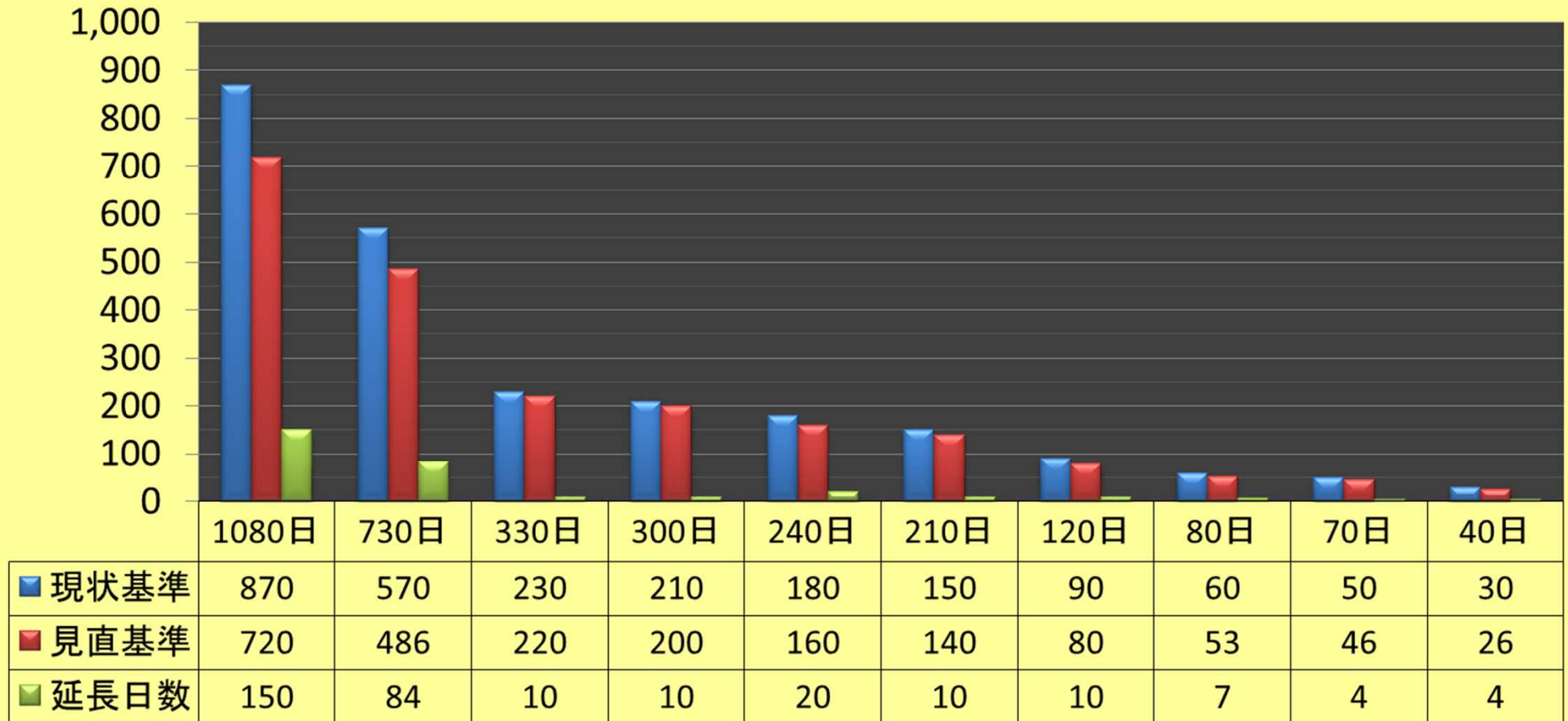


	内 容	手 順
取引先 A	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事前受注状況のデータの開示 2. 納品許容基準の見直し 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 店舗からの受注状況を山星屋に1週間前から開示 2. 賞味期間ごとに納品許容基準の見直しを実施（※詳細次頁）
山星屋	<ol style="list-style-type: none"> 1. 受注数量予測精度の向上 2. 鮮度コントロール強化による返品削減 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事前情報の確認を徹底。予測精度の改善及び在庫の削減 2. 出荷基準変更に基づく鮮度コントロールの徹底
メーカー	<ol style="list-style-type: none"> 1. 配送スケジュールの見直し 2. 食品ロス削減 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 山星屋の発注から納品までの日数を削減 (翌々日⇒翌日<取組メーカーのみ>) 2. 山星屋との在庫情報の共有及び再販強化の実施

食品ロス削減への取組事例<取組内容・手順>



単位 (日) 入荷許容基準見直し内容(2015年1月より<取引先A>)



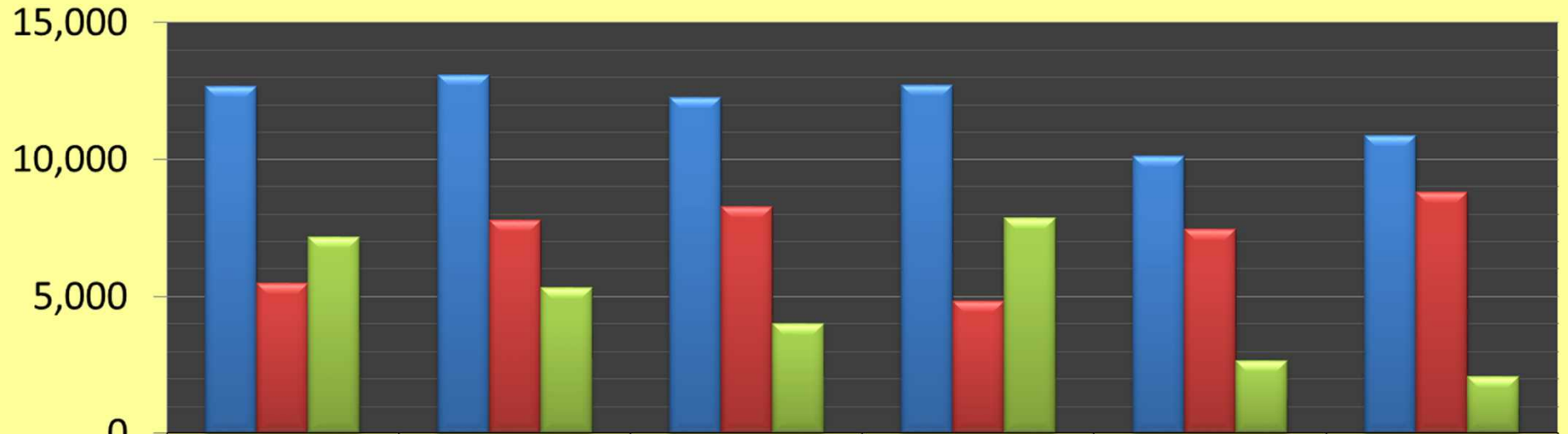
- NB商品に関して基準を入荷基準1/3に見直し
- オリジナル商品の一部を入荷基準1/2に見直し

食品ロス削減への取組事例<取組成果>



メーカーへの返品金額推移

単位 (千円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2014年	12,662	13,108	12,284	12,703	10,094	10,885
2015年	5,485	7,763	8,270	4,835	7,439	8,800
削減金額	7,177	5,345	4,014	7,868	2,655	2,085

- 納品期限切れが減少し、取組開始前と比較し、6カ月で返品は29,144千円削減（返品率3.69%⇒2.67% <▲1.02%>）
- 発注精度向上により、在庫金額も24,030千円削減（月平均）

食品ロス削減への取組事例<取組成果>

取引先 A での返品発生要因 (取組後)

カット時残

35%

新商品残

40%

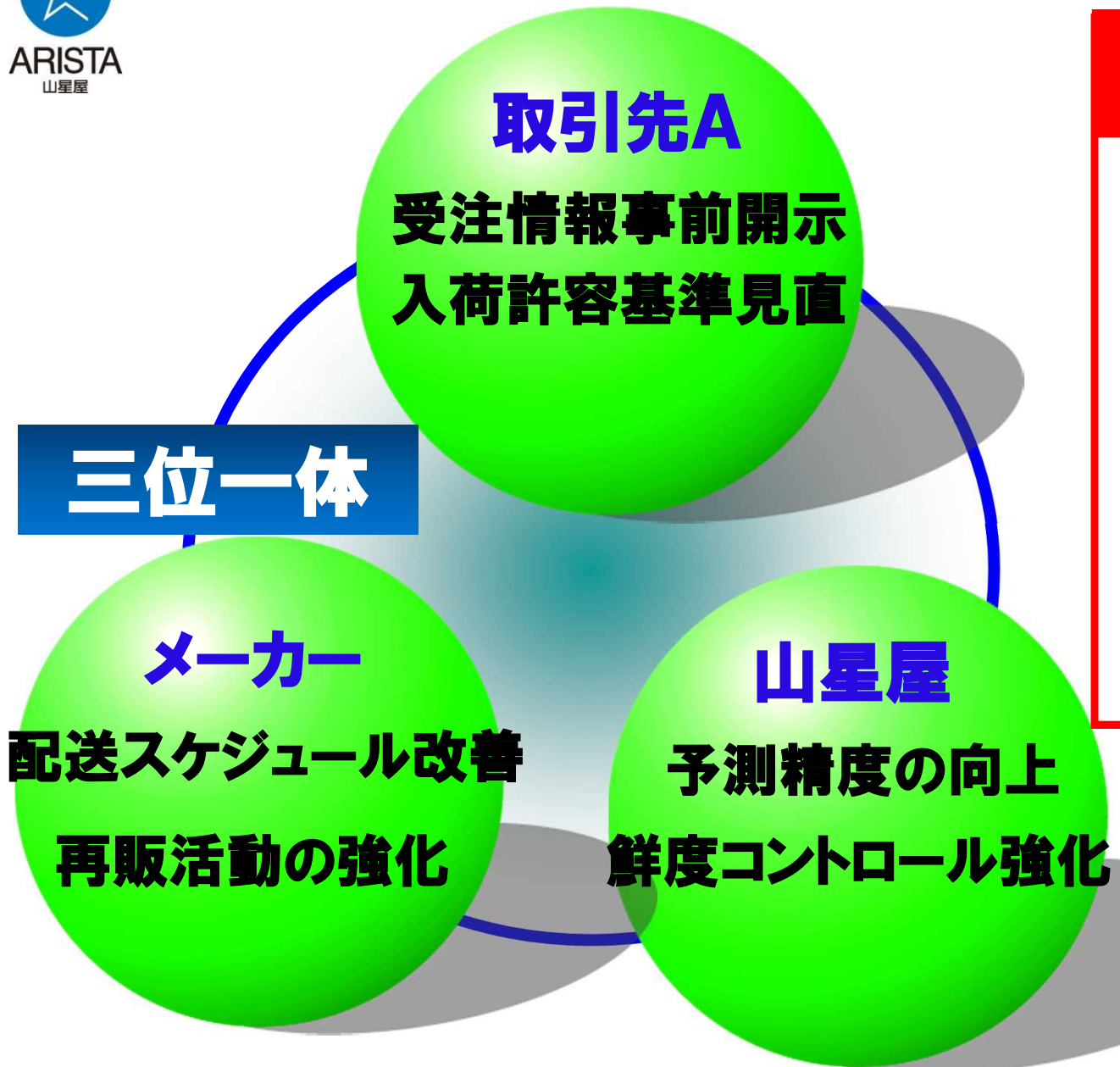
通常許容切

25%



今後カット時残削減と継続した
新商品受注予測精度改善が必要

食品ロス削減への取組事例<取組ポイント>



ポイント

取引先A・山星屋・メーカーが三位一体となり、廃棄・返品削減に努め、各々がすべきことを実施した。

食品ロス削減への今後の取組方針に関して<山星屋>



取組方針（継続）

- 資源を無駄なく効率的に活用し、経済成長に貢献する
- 『もったいない』発祥国として、世界に取組を発信する

取組内容

- 受注予測精度向上を図り、需給バランス最適化に貢献する
- 不良在庫の削減及びメーカー返品削減の取組の更なる強化
- 成功事例の社内外への情報共有による食品ロス削減推進
- 商慣習見直しに向けた小売業への納品期限見直し取組強化
- 蓄積データの共有による製配販協力体制の構築推進



お菓子を通じて、夢と安らぎを・・・。